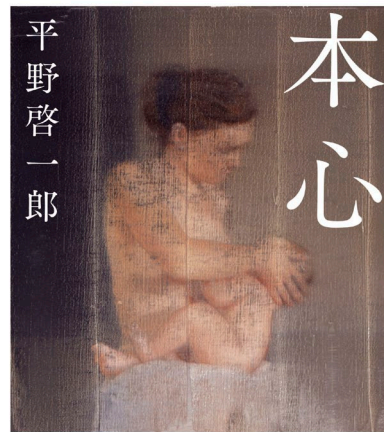


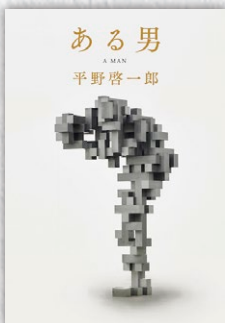
最新作!分人主義の最先端

『本心』 愛する人の本当の心を、あなたは知っていますか?
2021.5 単行本刊行

舞台は、「自由死」が合法化された近未来の日本。最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子は、「自由死」を望んだ母の、〈本心〉を探ろうとする。母の友人だった女性、かつて交際関係のあった老作家…。それらの人たちから語られる、まったく知らなかった母のもう一つの顔。さらには、母が自分に隠していた衝撃の事実を知る——。『マチネの終わりに』『ある男』に引き続き、愛と分人主義の物語であり、その最先端となる最新長篇。“最愛の人の他者性”に向き合う物語。



デビュー20年目の到達点!



『ある男』 愛したはずの夫は、まったくの別人であった。
2018.9 単行本刊行 2021.9 文庫版刊行

弁護士の城戸は、愛児と夫とを立て続けに失ったかつての依頼者から、死んだ夫が、実はまったくの別人だったという奇妙な相談を受ける。調査を始めた彼は、次第に明かされる謎の男の生への共感から、自らのアイデンティティをも激しく揺さぶられてゆく。人はなぜ人を愛するのか。幼少期に深い傷を背負っても、人は愛にたどりつけるのか。「大祐」の人生を探るうちに、過去を変えて生きる男たちの姿が浮かびあがる。人間存在の根源と、この世界の真実に触れる文学作品。

2022年に映画化(出演:妻夫木聡、安藤サクラ、窪田正孝他/監督:石川慶)。

累計60万部超の大人の恋愛小説



『マチネの終わりに』 たった三度出会った人が誰よりも深く愛した人だった——
2016.4 単行本刊行 2019.6 文庫版刊行

天才ギタリストの蒔野(38)と通信社記者の洋子(40)。深く愛し合いながら一緒にいることが許されない二人が、再び巡り逢う日はやってくるのか——。出会った瞬間から強く惹かれ合った蒔野と洋子。しかし、洋子には婚約者がいた。スランプに陥りもがく蒔野。人知れず体の不調に苦しむ洋子。やがて、蒔野と洋子の間にすれ違いが生じ、ついに二人の関係は途絶えてしまうが……。芥川賞作家が描く、恋の仕方を忘れた大人たちに贈る恋愛小説。

2019年に映画化(出演:福山雅治、石田ゆり子他/監督:西谷弘)。

〈本当の自分〉はひとつじゃない!



『私とは何か 「個人」から「分人」へ』

小説と格闘する中で生まれた、まったく新しい人間観「分人主義」。嫌いな自分を肯定するには? 自分らしさはどう生まれるのか? —— 人間関係に悩むすべての人へ贈る希望の書。

「カッコいい」を通して、いかに生きるべきかを考える



『「カッコいい」とは何か』

今や世界的に使われている「かわいい」と比較して、あまり研究対象にならなかった「カッコいい」という概念について、今起きていることを理解し、考える上で、重要な論点をいくつも盛り込み、書き切った最新評論。

平野啓一郎の文章が届く 月に一度のメールレター

このところ、時々、SNS上で読者のみなさんとやりとりさせていただく機会があったのですが、SNSは色んな関心で人が集まっていますので、せっかくなら、僕の作品を愛読してくださってる方達と、より直接的に交流できる仕組みがあった方がいいのではないかと思います、メールレターの配信をスタートすることにしました。

今考えていること、気になっていることなど、作品化される以前の段階の話なども、お話しできたらと思います。

メールレターを通じて、みなさんからのご意見にも触れることができれば嬉しいです。

全てにお答えはできないと思いますが、質問なども大歓迎です。

僕の作品の裏側をもっと知ってください。

ご意見、ご感想など、楽しみにしています。

どうぞ、よろしくお願い致します。



メールレター登録までの流れ

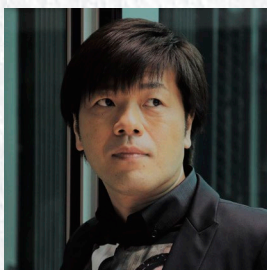
① 右側のQRコードを読み取り

特設サイト (<https://k-hirano.com/mailletter>) にアクセス。

② 「ご登録はこちらから」の下にある登録フォームに、名前とメールアドレスを入力。

③ 「上記の内容で登録する」をクリック！

※入会費・年会費などは無料です。



撮影：@ogata_photo

平野啓一郎 (小説家)

プロフィール

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。

1999年在学中に文芸誌「新潮」に投稿した『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作毎に変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。2004年には、文化庁の「文化交流使」として一年間、パリに滞在した。また、各ジャンルのアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。

著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』、『本心』等、エッセイに『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か 「個人」から「分人」へ』、『「カッコいい」とは何か』等がある。

平野啓一郎

公式 SNS

右側のQRコードより
アクセスできます。

公式サイト <https://k-hirano.com/>

Twitter @hiranok

Instagram @hiranok

Facebook <https://www.facebook.com/hiranokf>

Twitter(スタッフ運営・作品公式) @matinee0409

LINE <https://line.me/R/ti/p/%40hiranokeiichiro>

note <https://note.mu/hiranok>



ぶんじんしゅぎ
分人主義
OFFICIAL SITE

平野啓一郎が提唱する「分人主義」とは

「個人」に対して「分人」とは、対人関係ごと、環境ごとに分化した、異なる人格のことです。中心に一つだけ「本当の自分」を認めるのではなく、それら複数の人格(分人)すべてを「本当の自分」だと捉える考え方を「分人主義」と定義しています。

URL <https://dividualism.k-hirano.com/>

